

令和3年度 小矢部市議会 議会報告会 報告書

開催年月日	令和3年11月26日(金)			会場名	市民交流プラザ	
開始時刻	午後7時			終了時刻	午後8時	
参加者数	男	19人	女	0	合計	19人
出席議員	中田 正樹		吉田 康弘		谷口 巧	
竹松 豊一						
議会報告会での質疑・意見とその回答						
質疑・意見の要旨				議員回答要旨		
<p>①コロナ対策は、国・県の対策がほとんどであるが、小矢部市が考えているコロナ対策は、議会としての見解を伺いたい。</p> <p>②今、言われた事は、お金がかかる、小矢部市として財源のあてはあるのか。</p>				<p>①ワクチン接種は、小矢部市としてはスムーズに実施できたと思っている。子ども達の感染が世界で拡大していることから、12歳以上(子ども)の接種を希望される方には、しっかりとワクチンを接種することが大事である。また、ファイザー社のワクチンは、5～11歳の子どもへの接種が承認申請中であることから、承認されれば、小矢部市としてもしっかりと接種を行う体制の構築が大事だと思っている。地域経済を支える事については、プレミアム商品券もあるが、コロナが終息することが、地域経済の活性化に最も繋がるものと思っている。</p> <p>②ワクチン接種などのコロナ対策は、国の方で財政措置がされることとなっているが、小矢部市として独自の有効な施策があった場合、今の小矢部市の財政状況では難しい面もある。</p>		
<p>①議会としてコロナ感染者の人数、年代別の内訳を把握しているのか。</p> <p>②高齢者に対して、3回目のワクチン接種について、議会としてどのような対応を求めているのか。</p> <p>③コロナ患者のベット数が、小矢部市には無いことに対して、議会は当局にどのような申し入れをしているのか。</p> <p>④3回目のワクチン接種については、2回目を接種した人達に接種券は自動的に送付されるのか。</p> <p>⑤抗体検査のできる市内の病院数と費用について伺う。また、抗体検査に対しての市の助成はあるのか。</p>				<p>①感染者数は、当局から連絡をいただいている。→【小矢部市の感染者数53人である。】</p> <p>②まずは、医療従事者から優先的に実施していくことになる。集団か個別かは、まだ確定していないが、集団接種で進めていく計画だと思っている。</p> <p>③ベット数の確保については、砺波医療圏の中核病院である砺波総合病院が担っていることから、議会としてはこのことについて申し入れはしていない。</p> <p>④今後のスケジュールについては、持ち帰って担当部署に問い合わせる。→【個別接種は令和4年2月14日から、集団接種は3月中旬から、接種券については順次送付する予定である。】</p> <p>⑤抗体検査については、市内医療機関においてほぼ実施できると思うが、市の助成は今のところない。</p>		
<p>①感染者については、メールで配信されているが、年代と性別しか公表がされていない。せめて、どこの地域かを公表できないか。</p>				<p>①過去に感染者が差別的な扱いを受けた事例があったことから、公表することは難しいと考えている。当局も議会にどの地区の人かは絶対に教えてくれない。このことについては、今後の検討課題とさせていただきます。</p>		
<p>①事業の財源と繰越額について伺う。</p>				<p>①コロナ感染の対策事業については、全額国の方で財源措置がされている。→【令和3年度への繰越額については、6事業で784,272千円である。主にケーブルテレビ光ファイバ整備事業費763,400千円、サイクリングターミナル管理運営費9,900千円等である。】</p>		
<p>①今年、獅子舞を実施したが、開催までにいろいろな意見をいただき、毎日、感染対策をしっかりと練習をしたが、獅子舞に携わっていない人、ワイドショーなどの不安を煽るような情報に感化された人などから、感染したらどうするという話を多くいただいた。不確かな情報に惑わされないように、自分たちがしっかりと対策をしているのであれば、実施できるような指針等を市、議会が情報を発信していただき、行事等が前向きに取り組んでいけるようにしていただきたい。</p>				<p>①令和3年度は、多くの行事等が中止になったが、来年度は開催に向け、しっかりと準備をしていきたい。また、正確な情報発信に努めていきたい。</p>		

議会報告会での質疑・意見とその回答

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>①前回、防災無線が聞き取れない件で、無線が聞こえづらい場合の電話の問い合わせについては、フリーダイヤルに変えてほしいと要望していたが、他市ではその方向で進んでいるところもある。</p> <p>②小矢部川中流水害予防組合議会は、何を議論しているのか。</p> <p>③学校のトイレが汚いという問題については、子ども達にとっては大きなマイナス、それに対して教育委員会は何をしたか。</p> <p>④集まった意見を集約し、返答していかなければならないのではないか。</p>	<p>①防災無線の不備に対しては、当局は改善に向け、取り組んでいる。</p> <p>②今日、来ているメンバーは、過去に小矢部川中流水害予防組合議会の議員になっていない。おそらく小矢部川の堤防等の要望活動を行っているものと思っている。→【この組合は、小矢部市及び高岡市で組織されており、小矢部川中流(小矢部市・高岡市の区域とし、このうち五位橋から下流を除く。)における水害予防に関する事務を行っている。】</p> <p>③2年前の議会報告会で中学校のトイレが汚いという指摘を受けたが、現在、トイレについては様式化が進んでおり、改善されている。→【トイレ洋式化率:小学校100%、石動中学校・大谷中学校100%、蟹谷中学校90%、津沢中学校92%】</p> <p>④4会場でと同時に開催しているので、多くの意見が集まると思う。集まった意見に対しては、解決策に向けた取り組みの答えを準備していきたい。</p>
<p>①愛知県で同級生を包丁で刺すという事件があった。ギガスクールでは、タブレット等が導入されたがこれはあくまでもツールである。教育委員会や学校現場だけで、子ども達の話をしているのでは足りない。市民の代表である議員が私たちの声を聞いて、子ども達がほんとうに健やかに育つには何がいいのか、物を買うだけでなく、当局と議会がやりとりをして子ども達のことを考えてほしい。</p>	<p>①コロナ禍において学校に行けなかったことは、子ども達にとって不安だったと思う。タブレットに関してはツールであり、本来は集まって授業を受けるのが基本である。子ども達を取り巻く環境は、不登校であったり、いじめであったり様々な心のケアが一番大きな問題となってきている。ニュースになっているような子ども達を一人でも出さないことが、教育の面である意味もっとも大事な事であり、命の大切さをPTAの立場、地域の立場、皆さんの意見を捉えながら、議会としても当局に伝えていきたいと思っている。</p>
<p>①政務活動費については、いろいろと問題が出ている。改善策について問う。</p>	<p>①現在、議会改革協議会において検討しており、政務活動費の領収書については、情報開示請求において開示していたが、ホームページにおいて誰でも閲覧することができるようにすることを考えている。</p>